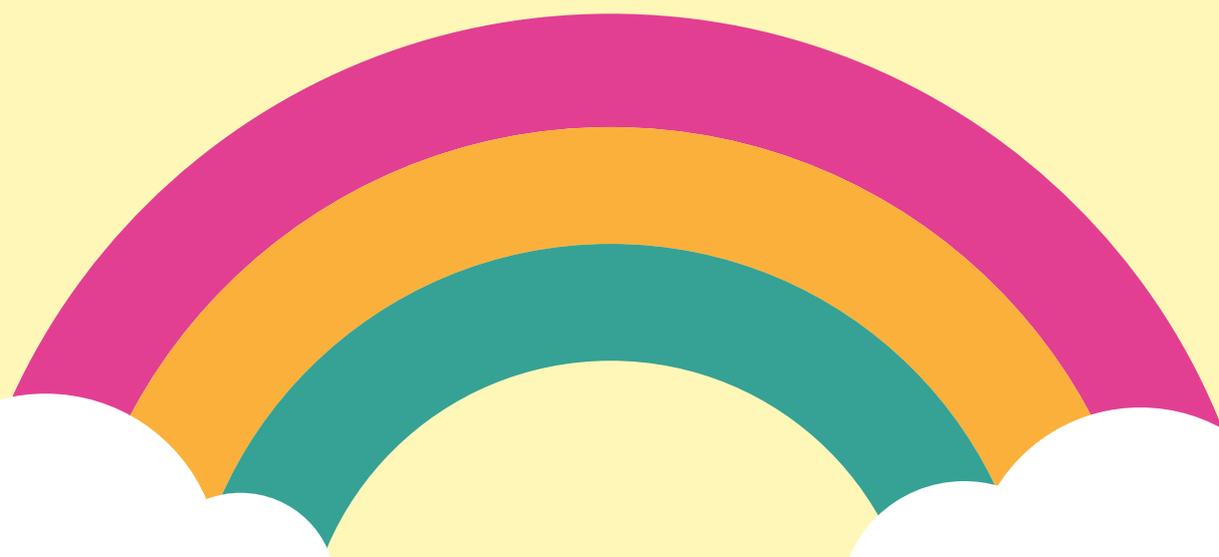


明治大学国際日本学部 山脇ゼミナール主催

第9回

なかの多文化共生フォーラム

～多様性のあるやさしいまちを目指して～



日時

2021年12月8日(水)
18時15分～20時15分

会場

ZOOM

タイムテーブル

第1部 山脇ゼミ活動報告

18:15~18:55

区長と留学生の懇談会

矢野良那



やさしい日本語ラップ

盛永樹



小学3・4年生向け

ワークショップ

田中柚希

小学5・6年向け

ワークショップ

服部楓

アンコンシャスバイアスって？

Unconscious Bias
(無意識の) (偏見)

自分自身が気づいていない思い込みや
勝手に決めつけたモノの見方のこと

アンコン
って呼んでみよう!!



中学生向け ワークショップ 太田菜月

多文化共生ワークショップ
日本に住む外国人にかかわる課題、外国人に対するサポートの方法を「やさしい日本語」を通して学びましょう。

やさしい日本語ワークショップ
①やさしい日本語講座
なぜ必要か、どのように普通の日本語から言い換えるかをゼミ生が丁寧に説明します！
②グループでやさしい日本語を使って、ポスターを作り、実際にやさしい日本語を使うようになりましょう！

かしても
類になつた人は
ぜひ参加して
ください！！！！

多文化共生、国際交流、山崎ゼミ、毎日少しでも興味がある方ぜひお待ちしております！その他にも大学生に聞きたいことなんでも聞いてください！！

日：12月12日(日)
時間：10:30~11:30
場所：オンライン
(国産でZoom Linkをお送りします)

参加費無料
会場：Zoom
応募締切：12月11日12時
定員：25名

問い合わせ：yamawaki.seminar@gmail.com



どうすればいいのかが分からないんだよ

高校生向け ワークショップ

堀内亜沙子



やさしい日本語 ワークショップ

高野真咲

やさしい日本語アプリ

鄭惺録



True Colors 木村彩裕



ダイバーシティ・ プレゼンコンテスト

古賀朝子 佐藤優香子
土橋成実 松村有里恵

講評

10分休憩

第2部

身近な暗黙のルールから考える 多文化共生

19：05～20：05

～内容～

地域で日本人同士でも起こりうる身近な問題を取り上げ、そこから、多文化共生社会で大切になる「多様性を受け入れる意識」について、参加者の皆さんと一緒に考えていきます。

前半：グループトークセッション

「外国人とは関わる機会が少ないから、
どんなトラブルが起こるか分からない」
「外国人と文化の違いから生じるトラブルで悩んでいる」
といった、皆さんの不安や実際の困りごとについて
他の参加者の方々と話し合ってください。

後半：パネルディスカッション

前半のセッションで出た事例をもとに、
様々な経験を持つパネリストお二人とともに、
より深く考えていきます。

2部パネリスト



岡崎 広樹

芝園団地自治会
事務局長

埼玉県川口市のUR芝園団地で世帯の半数を占める中国人住民と日本人住民との交流を進め、「共生」のキーパーソンとして活躍。



岩澤 直美

株式会社Culmony
代表取締役

学校や企業で異文化交流のワークショップと研修を展開。東京大学大学院では院生として異文化間教育の学習デザインを研究中。

山脇 啓造

明治大学
国際日本学部教授



専門は移民政策・多文化共生論。総務省や東京都などの外国人施策関連委員を歴任。明治大学では学生たちと多文化共生のまちづくりを実践。

参加後アンケート



～ご協力お願いします!!～

20:15

終了予定

懇親会（自由参加） 20:15～

フォーラムのテーマ 「多文化共生」について

総務省が「地域における多文化共生推進プラン」(2006年)を策定して以来、全国の自治体で多文化共生の取り組みが進んできました。2020年にはプラン改訂版が出されました。改訂版には、地域における多文化共生は「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと」と定義され、具体的には、コミュニケーション支援、生活支援、意識啓発と社会参画支援、地域活性化の推進やグローバル化への対応の4つの柱が示されています。

2000年代以前、日本の自治体の取り組みの多くは、外国人支援にかかわるものでしたが、2010年代以降、欧州における「インターカルチュラル・シティ」の取り組みを参考に、多様性を生かした地域づくりへの関心が高まっています。外国人の存在がもたらす多様性を脅威とみなすのではなく、まちの活力、革新、創造、成長の源泉とする考え方です。多様性を生かすには、多文化共生の意識づくりが必要です。そうした観点から、今年度、私たちは「やさしい日本語」をテーマにしたミュージック・ビデオの制作に取り組みました。

オリンピック・パラリンピック開催を経て、多様な人が共に支えあう「インクルーシブシティ」をめざす東京都、そして多様性の尊重を目指した条例制定の準備を進める中野区でも、多文化共生の意識づくりに関する関心が高まりつつあります。政府も2018年に「外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策」を策定して以来、共生社会づくりに力を入れています。そこで、本フォーラムでは、外国人も日本人も住みやすいまち、そして多様性のあるやさしいまちをつくるにはどうしたらよいか、皆さんと共に考えたいと思います。

本日はご参加ありがとうございました！

明治大学

国際日本学部 について

明治大学国際日本学部は2008年4月に和泉キャンパスに開設され、2013年4月に中野キャンパスに移転しました。

本学部の目的は、日本そして地球社会について学び、実践的な英語力と多文化共生力を身につけ、グローバルに活躍できる人材を育てることです。明治大学のグローバル化をリードする学部として、外国人留学生を積極的に受け入れ、在学生の海外留学にも力を入れています。

山脇ゼミ について

多文化共生のまちづくりをテーマに、調査やイベントを行っている明治大学屈指の実践志向・地域密着型のゼミです。

4年：堀内亜沙子（ゼミ長）・菊島百佳（副ゼミ長）
鄭惺録（副ゼミ長）・太田菜月・金井音色
木村彩裕・鋤柄唯・高野真咲
高橋一生・塚田百音・吉鶴大聖

3年：野田鈴夏（ゼミ長）・佐藤優香子（副ゼミ長）
土橋成実（副ゼミ長）・石村萌菜美
大後里咲・大島沙也・北村奈々・キムソリ
古賀朝子・鈴木尊晴・田中柚希・服部楓
日高悠希・松村有里恵・盛永樹・矢野良那

